

令和7年度

清瀬市OFB軟式野球大会リーグ戦

プログラム



主催 清瀬市体育協会
清瀬市軟式野球連盟

事務局 〒204-0004 清瀬市野塩4丁目26

TEL 042-494-8135

FAX 042-493-0024

ホームページ

<http://清瀬市軟式野球連盟.com/>

令和7年度 清瀬市軟式野球連盟 役員・審判員

職名	氏名
名誉会長	澁谷 桂司 (清瀬市長)
会長 理事	支部長 東連評議員 山下 晃
顧問 理事	熊田 義高
副会長 理事	東連審判幹事 瀬谷 真
理事長	東連運営委員 原口 和之
副理事長	原田 政美
理事	少年部長 東連少年幹事 体協理事 山下 修男
副会長 理事	松尾 謙吾
理事	審判部長 宮澤 健弥
理事	深田 恵一
理事	事務局長 小林 正夫
チーム理事	ママズボーイズ 岩上 貴芳
チーム理事	東京ブラック ホーネッツ 矢澤 正芳
チーム理事	清瀬ビクトリー 中島 拓也
事務局	小林 悦子
監事	鎌田 貞夫

職名	氏名
審判 部長	東連選抜 審判員 宮澤 健弥
審判 副部長	松尾 謙吾
審判員	熊田 義高
審判員	東連選抜 審判員 瀬谷 真
審判員	大島 正治
審判員	富田 正和
審判員	佐野 大喜
審判員	小林 正夫
審判員	少年部 菅野 保之
審判員	少年部 高見 爽太
審判員	少年部 加藤 正行
審判員	飯田 光男

令和7年度 清瀬市 OFB 軟式野球大会リーグ戦 実施要領

1. 主催 清瀬市体育協会・清瀬市軟式野球連盟
2. 日程 春季 令和7年4月5月 秋季 9月10月
決勝戦 11月(各日曜日)
*今大会は、1年間の大会になります。途中参加はできません。
3. 会場 清瀬内山運動公園野球場A
4. 参加申込 令和7年2月1日(土)~2月9日(日) 連盟事務局
監督会議 令和7年3月1日(土) 清瀬市生涯学習センター アミューホール(7F)
午後6:00~6:20受付 6:20から総会を行います。総会後に監督会議を行います。受付時に組合せ抽選します。
5. 試合球 ケンコーボールM号
6. 参加資格 下記①②の男女で編成するチーム。
①登録人数が10名以上(監督を含む) ②登録選手の10名以上が東京都
内在住・在勤・在学者(小・中学生を除く)
③試合当日の年齢が40歳以上
*追加登録・変更は、10月末まで可能、事務局まで連絡のこと。
7. 連絡事項
 - ① 清瀬市軟式野球連盟 年間登録料は16,000円、大会参加費は30,000円と
傷害保険料1人200円×登録人数 が必要となる。
また、全日本軟式野球連盟 年間登録料
1チーム1,200円 1人200円×登録人数
東京都軟式野球連盟 年間登録料
1人600円×登録人数 が必要となる。
 - ② ・小雨でも球場使用可能な場合は試合を行う。
・雨天の際は、午前7時以降に各グラウンドの携帯電話に連絡すること。
内山A 070-1345-8168
・日程変更は連盟事務局042-494-8135に確認するか(月曜日から土曜日
午前9時~午後7時)、ホームページにアップされた情報を確認すること。
(ホームページ <http://清瀬市軟式野球連盟.com/>)

- ③ 今大会の試合方法は、参加チームを A,B ブロックに分けてリーグ戦（1 チーム 4 試合）を行い、各ブロック 1 位により決勝戦を行う。

<リーグ戦>

- ・イニングは 7 回戦とする。試合時間は 1 時間 40 分を目安とし、1 時間 30 分をもって新しいイニングに入らないこととする。
- ・全試合コールドゲーム有 4 回 10 点差 5 回 7 点差
- ・7 回完了または制限時間を過ぎて同点の場合は、引き分けとする。
- ・各ブロックの順位は勝ち点方式で、勝ち点の多いチームが上位となる。
勝 4 点 引き分け 2 点 負 1 点 不戦敗 0 点
- ・同点の場合 1) 直接対戦成績 2) TQB で上位を決定する。

<決勝戦>

- ・各ブロック 1 位チームにより、決勝戦を行う。
- ・イニングは 7 回戦とする。試合時間は 1 時間 55 分を目安とし 1 時間 45 分をもって新しいイニングに入らないこととする。
- ・コールドゲーム有 4 回 10 点差 5 回 7 点差
- ・7 回完了または制限時間を過ぎて同点の場合は、タイブレーク方式を行う。
(無死 1・2 塁継続打順) タイブレーク方式は 2 イニングとし、なお同点の場合は最終守備者が同一ポジションの抽選で勝敗を決定する。

<表彰>

- ・優勝及び準優勝チームを表彰する。賞状・カップ・賞品を贈呈する。

- ④ 試合中ファールボールは必ずベンチ側が拾いに行くこと。
- ⑤ グラウンド・ベンチの清掃については各チーム責任をもって行うこと。
- ⑥ 各会場とも駐車場が少ないので、車はなるべく乗り合いで来ること。
- ⑦ 英文字のみ及び日本語と英文字単語の複合チーム名を登録する場合は、英文字部のカタカナ読みを併記すること。なお、プログラム及び記録表の表記はカタカナを使用する場合あり。
- ⑧ 2 種類までのユニフォームでの参加が可能です。ただし、背番号は同じにならないようにする。
- ⑨ 審判は、試合当日の担当人数により、審判 2 人制になる場合があります。
- ⑩ 動画の撮影について、可能ですが SNS 等一般公開しないようにお願いします。

令和7年度清瀬市OFB軟式野球大会 リーグ戦注意事項

清瀬市軟式野球連盟

【競技運営に関する注意事項】

清瀬市OFB軟式野球大会リーグ戦は、東京都軟式野球連盟の規程、細則、公認野球規則、競技者必携及び本取決め事項を適用する。

1. 一般チームの登録人数は、男女を問わず10名以上。
 - ① 大会でベンチに入れる人員は監督を含む選手9名以上
 - ② チーム責任者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）は各1名とする。
 - ③ 背番号は監督30番、コーチ28・29番、主将10番として、選手は0番から99番までとする。ただし、監督及びコーチは選手と兼任できる。
 - ④参加登録資格は、東京都内在住・在勤・在学者（小・中学生を除く）が10名以上。
 - ⑤試合当日の年齢が40歳以上
2. 抽選会等連盟の会議や通知等で説明を受けた事項または決められた事項はチーム全員に必ず徹底させること。
3. 試合を行うチームは、試合開始予定時刻30分前に大会指定の打順表と未使用の試合球2個を本部に提出して、照合を受けること。この場合、打順表には遅れている選手も含め、試合に来ると思われる全員の名前を記入し、試合開始時にいない選手は口頭で審判員に報告すること。なお、第2試合以降のチームは、試合開始30分前までに本部に提出すること。照合終了後、両チームの監督、主将、又は代表者によって好守を決める。
4. 試合開始予定時刻になっても球場に来ないチームは原則として棄権とみなす。開始時及び終了時に9名以上いない場合も同様の措置をとる。
5. 登録及び試合に於いて不正を行ったチームに対する措置
 - ① 試合中に発見された場合は、相手チームに勝利を与える。
 - ② 試合終了後に発見された場合は、相手チームに勝利を与える。
 - ③ 決勝戦終了後に発見された場合は、準優勝チームを優勝チームとする。
6. 大会秩序を乱し、その進行を妨げる行為をした場合は当該選手とチームに対して大会役員の合議により相当の措置をとる。なお暴力行為を行った選手は理由の如何を問わず、直ちに退場させるとともに出場停止処分を行う。また放棄試合は絶対に許されない。
7. ベンチ内での電子機器(携帯電話・パソコン等)及び携帯マイクの使用を禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。また、メガホンの使用は認める。
8. 球場内ではトスバッティングのみ認める。ベンチ前でのサイドノックも認める。
9. ボール回しは禁止する。
10. 第2試合以降のバッテリーのブルペン使用は、打順表を提出し照合を受けたのち、先発バッテリーに限り前の試合の5回終了または1時間を経過した後、投球することを認める。
11. (公財)日本体育協会が制定するスポーツ憲章並びに(公財)全日本軟式野球連盟の当該年度競技者必携を遵守し、球場内外を問わずマナーに充分留意すること。

【ユニフォーム、装具について】

1. 装具の使用は公認野球規則で規定されているもののほか、次に定めるものを装着または使用しなければならない。
2. ユニフォームは同一チームの監督、コーチ、選手が全員同色、同形、同意匠でなければならない。なお、帽子は全員同色、同形、同意匠のものを着帽すること。
アンダーシャツ、ストッキングは全員同色のものであること。
(スパイク同色規定は削除)
2チーム合同参加の場合は、2種類のユニフォームで参加可。ただし、背番号は同じにならないようにする。
3. 袖の長さは両袖同一で、左袖に都名または支部名をつけることが望ましい。左袖には他のものをつけてはならない。
4. 胸のチーム名は、日本字、ローマ字のどちらでもよい。胸や右袖には社標、商標やクラブのマスコットマーク等をつけてもよい。
5. 背番号の規格は最小限15.2センチ以上。最大限長さ21センチ、幅16センチ、太さ4センチ以内とする。
6. バットは一本の木材で作った木製バットのほか、竹片、木片などの接合バットであること。木製バットについて公認制度はない(着色の制限はある)。
7. 金属・ハイコンバット(複合)は連盟公認のマーク(J.S.B.B.)のついたものを使用すること。使用の区分は、一般用と表示されているものを使用すること。
令和5年度より、ミズノ ビヨンド マックス レガシーの使用を禁止します。
素振りリング、素振り用鉄パイプは球場に持ち込む事を禁止する。
8. 後付けフレアグリップの使用については、専用のテープ等で完全に固定・被覆されたならかな形状のものであれば使用を認める。
9. 捕手は、連盟公認(J.S.B.B.)のマスク(スロートガード付)、プロテクター、レガーズ、捕手用ヘルメット(S・Gマーク付き)、ファウルカップを装着しなければならない。
10. 打者、次打者、走者はS・Gマークの入った連盟公認(J.S.B.B.)のヘルメットを必ず着帽すること。イヤーフラップは両耳が望ましい。
11. ベースコーチはヘルメットを必ず着帽すること。(イヤーフラップは両耳が望ましい)
12. 投手のサングラスの使用を認める。ただし、ミラーレンズは除く。
また、野手が帽子のひさしの上に乗せることを認める。
12. ネックウォーマー(黒色・紺色・灰色系)の使用を認める。(投手は除く)
13. アームスリーブの使用を認める。野手は長さ・色等の規制はないが(片方だけでも可)
投手はアンダーシャツと同色で、両袖着用とする。

【大会規則】

1. 規則はグラウンドルールで特に決められた以外は、本年度公認野球規則及び競技者必携に準ずる事とする。
2. ベンチは組合せ抽選番号の若い方を一塁側とし、攻守は両チームの監督等のじゃんけんで決める。
3. 試合方法は、参加チームをブロックに分けてリーグ戦を行い、ブロック上位により決勝トーナメントを行う。試合は7回戦とし、1時間40分（決勝は1時間55分）を目安とし、1時間30分（決勝は1時間45分）をもって新しいイニングに入らないこととする。ただし、決勝でもグラウンド状況により1時間40分の時間制限を設ける場合もある。例えば、負けている先攻チームの第3アウトの成立が1時間30分（決勝は1時間45分）を過ぎていればその時点で終了。また、勝っている後攻チームの攻撃中に1時間30分（決勝は1時間45分）を過ぎた場合は、その時点で試合終了とする。その時の打者の攻撃中にその旨を両チームに通告し、この最後の打者の記録まで有効とする。
なお、延長戦は行わず、7回完了または制限時間を過ぎて同点の場合は、リーグ戦では引き分けとし、決勝トーナメントではタイブレーク方式（無死1・2塁で継続打順）で行う。ただし、タイブレーク方式は2イニングとし、なお同点の場合は最終守備者が同一ポジションの抽選で勝敗を決定する。得点差によるコールドゲームを全ての試合に適用する。4回10点差、5回7点差。各ブロックの順位は勝ち点方式で、勝ち点の多いチームが上位となる。 勝4点 引き分け2点 負1点 不戦敗0点 同点の場合 1) 直接対戦成績 2) TQB で上位を決定する。
4. 正式試合の成立は5回完了時とするが、5回以前でも規定時間に達したならば試合は成立する。規定のコールドゲーム、あるいは暗黒降雨などで規定の回数に試合が進行していない場合、すなわち、ノーゲーム（5回以前）になる回数のあるときでも特別継続試合として行う。
5. 監督またはコーチ等が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレーク方式になった場合は、1イニング1回行くことができる。
6. タイムの制限・・・
捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレーク方式になった場合は、1イニング1回行くことができる。
攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、タイブレーク方式になった場合は、1イニング1回行くことができる。
7. 監督・主将不在でも試合は認めるが、代理を必ずメンバー表に明記すること。
8. 指名打者（DH）ルールを使用できる。

【競技・審判上及び試合のスピード化に関する注意事項】

1. 抗議のできる者は、監督または主将と当該プレーヤーの内1名とする。
2. 塁上の走者及びコーチスボックスやベンチから球種などを打者に知らせるためのサインを出すことを禁止する。
3. ストライク、ボール、フェア、ファウルボール、アウト、セーフ等の判定に対する抗議は認めない。
4. 打者が2塁打を打ち打撃用手袋から走塁用手袋に変える為にタイムをかける行為を禁止する。
5. 打者が頭部にヒットバイピッチを受けた時には、球審は攻撃側の監督と協議し、臨時代走の処置を行うことができる。
6. 前進守備時の野手の位置について
野手が打者の目につくところへの位置は、故意に打者を惑わすことと野手の安全を考慮して塁間の半分を目安とする。
7. 守備が終わり、最後のボール保持者は必ず投手板にボールを置いてベンチに戻ることに。
8. 競技場内（ベンチを含む）では、飲酒、喫煙及びガム等を噛むことを禁止する。
9. 攻守交代は駆け足で行うこと。監督またはコーチのマウンドへの行き帰りは、小走りでスピーディーに行うこと。
10. 投球を受けた捕手は速やかに投手に返球すること。また、捕手から返球を受けた投手は速やかに投手板を踏んで投球姿勢をとること。
11. 打者は、投手が投球位置にいるいないに関係なく、速やかにバッタースボックスに入ること。また、次打者は、必ず次打者席に入り低い姿勢で待つこと。投手も必ず実行すること。なお、サインはバッタースボックス内で見ること。
12. 試合中、スパイクの紐を意図的に結び直すためのタイムは認めない。

【その他細則について】

1. 選手は一つのチーム以外に登録することができない。
2. 試合中の事故によりけがをした場合必ず本部に連絡すること。球場への往復の事故について主催者は一切責任を持たないので充分注意の上、参加すること。
3. 職業野球競技者（プロ野球）で退団後のアマチュア復帰については、競技者必携の（公財）全日本軟式野球連盟競技者規第3条（職業野球競技者の連盟復帰）を参照する。

令和7年度清瀬市OFB軟式野球大会リーグ戦 組合せ

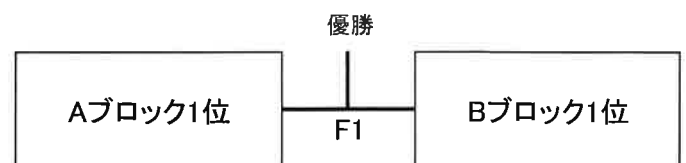
11チーム

Aブロック

	チーム名	1	2	3	4	5
1	ダイターズ		501	522	519	508
2	トータス			507	516	518
3	ママズボーイズ				502	513
4	シリング					510
5	紫草					

Bブロック

	チーム名	6	7	8	9	10	11
6	Jスピリッツ		503	509	520	506	
7	清瀬ダンディーズ			517	512		514
8	ボンバーズ					504	521
9	ミドルエース					515	505
10	清瀬市役所						511
11	大林シャークス						



令和7年度清瀬市OFB軟式野球大会リーグ戦 日程表

春季大会

月日	球場	試合順	メンバー表提出時間	開始時間	試合No.	1塁側		3塁側
4月20日	内山A	1	8:50	9:20	501	ダイターズ	VS	トータス
		2	10:30	11:00	502	ママズボーイズ	VS	シリング
	役員	3	12:10	12:40	503	Jスピリッツ	VS	清瀬ダンディーズ
	原口	4	13:50	14:20	504	ボンバーズ	VS	清瀬市役所

月日	球場	試合順	メンバー表提出時間	開始時間	試合No.	1塁側		3塁側
4月27日	内山A	1	8:50	9:20	505	ミドルエース	VS	大林シャークス
		2	10:30	11:00	506	Jスピリッツ	VS	清瀬市役所
	役員	3	12:10	12:40	507	トータス	VS	ママズボーイズ
	原田	4	13:50	14:20	508	ダイターズ	VS	紫草

月日	球場	試合順	メンバー表提出時間	開始時間	試合No.	1塁側		3塁側
5月11日	内山A	1	8:50	9:20	509	Jスピリッツ	VS	ボンバーズ
		2	10:30	11:00	510	シリング	VS	紫草
	役員	3	12:10	12:40	511	清瀬市役所	VS	大林シャークス
	深田	4	13:50	14:20	512	清瀬ダンディーズ	VS	ミドルエース

予備日 5月4日 6月29日 8月24日

秋季大会

月日	球場	試合順	メンバー表提出時間	開始時間	試合No.	1塁側		3塁側
9月28日	内山A	1	8:50	9:20	513	ママズボーイズ	VS	紫草
		2	10:30	11:00	514	清瀬ダンディーズ	VS	大林シャークス
	役員	3	12:10	12:40	515	ミドルエース	VS	清瀬市役所
	原口	4	13:50	14:20	516	トータス	VS	シリング

月日	球場	試合順	メンバー表提出時間	開始時間	試合No.	1塁側		3塁側
10月5日	内山A	1	8:50	9:20	517	清瀬ダンディーズ	VS	ボンバーズ
		2	10:30	11:00	518	トータス	VS	紫草
	役員	3	12:10	12:40	519	ダイターズ	VS	シリング
	原田	4	13:50	14:20	520	Jスピリッツ	VS	ミドルエース

予備日 10月19日

月日	球場	試合順	メンバー表 提出時間	開始時間	試合No.	1塁側		3塁側
10月26日	内山A	1	8:50	9:20	521	ボンバーズ	VS	大林シャークス
		2	10:30	11:00	522	ダイターズ	VS	ママズボーイズ
	役員	3	12:10	12:40		リーグ戦準決勝		
	深田	4	13:50	14:20				

月日	球場	試合順	メンバー表 提出時間	開始時間	試合No.	1塁側		3塁側
11月2日	内山A	1	8:50	9:20	F1	Aブロック1位	VS	Bブロック1位
						表彰式		
	役員	2	11:00	11:30		リーグ戦決勝		
	原田					表彰式		

予備日 11月9日

令和7年度清瀬市OFB軟式野球大会リーグ戦 参加チーム代表者

11チーム

チーム名	氏名
ボンバーズ	野村 英之
シリング	山中 宏之
ミドルエース	横山 正喜
トータス	下沖 俊夫
清瀬ダンディーズ	加藤 充
清瀬市役所	小寺 利一
ダイターズ	白井 大輔
J・スピリッツ	永田 興志郎
ママズボーイズ	岩上 貴芳
大林シャークス	大島 義徳
紫草(むらさき)	島 亮一

令和7年度清瀬市OFB軟式野球大会リーグ戦 結果

Aブロック

チーム名		1	2	3	4	5
		ダイターズ	トータス	ママズボーイズ	シリング	紫草
1	ダイターズ		501 4月20日	522 10月26日	519 10月5日	508 4月27日
2	トータス			507 4月27日	516 9月28日	518 10月5日
3	ママズボーイズ				502 4月20日	513 9月28日
4	シリング					510 5月11日
5	紫草					

勝 4点	引分け 2点	負 1点	不戦敗 0点	勝点	順位

Bブロック

チーム名		6	7	8	9	10	11	勝 4点	引分け 2点	負 1点	不戦敗 0点	勝点	順位
		J・スピリッツ	清瀬 ダンディーズ	ボンバーズ	ミドルエース	清瀬市役所	大林シャークス						
6	J・スピリッツ		503 4月20日	509 5月11日	520 10月5日	506 4月27日							
7	清瀬ダンディーズ			517 10月5日	512 5月11日		514 9月28日						
8	ボンバーズ					504 4月20日	521 10月26日						
9	ミドルエース					515 9月28日	505 4月27日						
10	清瀬市役所						511 5月11日						
11	大林シャークス												

試合記録表

日付 _____ 年 月 日 大会名 _____ 回戦 _____
 球場名 _____

チーム名 \ 回数	1	2	3	4	5	6	7	計
塁側								
塁側								

主審	
1	
2	
3	
本部	

日付 _____ 年 月 日 大会名 _____ 回戦 _____
 球場名 _____

チーム名 \ 回数	1	2	3	4	5	6	7	計
塁側								
塁側								

主審	
1	
2	
3	
本部	

日付 _____ 年 月 日 大会名 _____ 回戦 _____
 球場名 _____

チーム名 \ 回数	1	2	3	4	5	6	7	計
塁側								
塁側								

主審	
1	
2	
3	
本部	

日付 _____ 年 月 日 大会名 _____ 回戦 _____
 球場名 _____

チーム名 \ 回数	1	2	3	4	5	6	7	計
塁側								
塁側								

主審	
1	
2	
3	
本部	

試合記録表

日付 年 月 日 大会名 回戦
 球場名

チーム名 \ 回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
3塁側										
1塁側										

主審	
1	
2	
3	
本部	

日付 年 月 日 大会名 回戦
 球場名

チーム名 \ 回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
3塁側										
1塁側										

主審	
1	
2	
3	
本部	

MEMO